

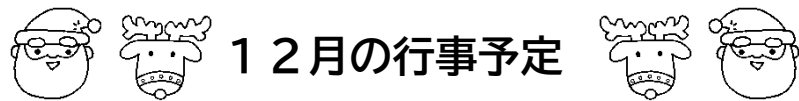


令和5年12月
志比田こども園

12月の園だより

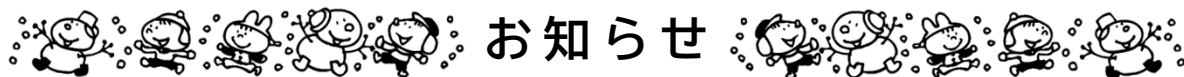
寒さが身に染みる季節となりました。冷たい風に鼻を赤らめながらも、元気に遊ぶ子どもたちの姿にたくましさを感じているこの頃です。クリスマスにお正月と、楽しみいっぱいの12月。子どもたちは待ちきれない！といった様子で、毎日ワクワクしながら過ごしています。

また、コロナ感染症、インフルエンザ予防のため、手洗い・うがい・マスク着用に心がけ、全員元気でおゆうぎ会に参加できるようにしましょう。



12月の行事予定

5日(火)	おゆうぎ会 ビデオ撮影 (たんぽぽ0才・1才・ばら)	6日(水)	おゆうぎ会 ビデオ撮影 (すみれ・さくら・ひまわり)
9日(土)	おゆうぎ会 未満児 (たんぽぽ0才・1才・ばら)	10日(日)	おゆうぎ会 以上児 (すみれ・さくら・ひまわり)
19日(火)	避難訓練(居残り時)	29日(金)	お弁当の日
22日(金)	誕生会・クリスマス会		
4・25日(月)			英語教室(ひまわり)
6・27日(水)			音楽教室(すみれ・さくら・ひまわり)
21日(木)			体操教室(すみれ・さくら・ひまわり)



お知らせ

● 令和6年度の継続書類を配布しています

継続入所の方は、12月8日(金)(期日厳守)までに、現況届と就労証明書を提出してください。

● おゆうぎ会のDVD販売を行います

申し込み用紙は、後日配布いたします。

● 19日(火)からマラソンの練習が始まります!

運動のしやすい服装で登園しましょう。

(裾の長いズボンやスカート・ブーツ・サンダル等は危険です)



子どものケンカの仲裁、どうしてますか？

公園や家の近所でお友だちと。家の中できょうだいが。子どもが集まると、いろんな気持ちが生まれます。そしてときには、けんかやトラブルに発展することも。そんな混乱を早く改善しようと、大人が仲裁しがちですが、もう少し大きくかまえてじっくり接してみませんか。子どもだけでなく大人も成長できるチャンスです。

トラブルへのかかわり方の大原則

お互いの気持ちを尊重しながら 自分たちでトラブルを処理できるように、気持ちをことばにする手助けや仲立ちをする。

◎ 子どもの自己主張をしっかりと聞く

コミュニケーションは自分の欲求を外に出すことから始まります。“自己主張”ができてい事が大前提です。「これが欲しい」「私はいや」という気持ちを何らかのかたちで主張できないとコミュニケーション能力は身につけません。親の務めは「あなたはどうしたいの?」「あなたは どう思うの?」と、子どもの自己主張を聞く、ということなのです。

◎ 大人にできることは子どもの体験の手助け

自己主張しながら相手の自己主張もしっかり聞き、どうすればお互いが納得してトラブルを治められるかを“体験的”に学んでいく。子ども同士の気持ちのキャッチボールを十分に仲立ちし、子どもが自分で判断できるようになる手助けをしてあげましょう。

《 コミュニケーションが上手くなるための3つのステップ 》

STEP 1 自分の気持ちを伝える



自己主張のしかたやその場その場の感情は千差万別です。ともだちとトラブルになったとき、相手に向かっていくのも、だまって逃げるのも自己主張です。自分が感じたどんな気持ちでも、親をはじめ、大人たちやお友だちにわかってもらえた。その喜びを何度も何度も感じることで、少しずつ自分の気持ちを自分で伝えられるようになっていくはずです。

STEP 2 相手の気持ちを知る



想像で思い込まずに相手に聞いて確かめることも大切です。自分の気持ちが分かっても、そのことがしっかりと体験できていると、相手の気持ちに目を向ける余裕が生まれます。ていねいに気持ちを聞くことを大人がサポートしながらくり返し体験させてあげましょう。

STEP 3 ぶつかる気持ちを調節する



自分の自己主張を大切にした上で相手の自己主張も大切に聞く。そしてお互いの気持ちを尊重し、問題をどうするか一緒に考えていく。子どもにも自分で選ぶ力がある、と信頼できているか。子どもが選んだ結果、もし失敗してもフォローするスタンスでいられるか。そんな大人の手助けがあれば失敗をくり返ししながらどんどん成長できるのです。